

財政推計を基本とし、限られた予算の中で 安心安全で住みやすいまちづくりを行うための予算

【歳出】 施策の充実と新たな発想 による事業の実施

町が支払うお金で一番大きな割合を占めるのは、障がい者や高齢者の自立支援および保育所、福祉事務所の運営などに使われる民生費で、約6億7649万円（歳出全体の23・34^{パーセント}）と、昨年度に比べ、4・16^{パーセント}の増となっています。1歳から3歳までの誕生日を迎える幼児の保護者に対して支援金3万円を給付する『子育て支援事業』は引き続き実施します。

次は、西部広域行政管理組合負担金や町営バス運営費、防災や庁舎管理などに使われる総務費が、約5億658万円（歳出全体の17・48^{パーセント}）で、引き続きタクシー利用者補助事業のほか、消防用ホースなどを購入する自治会や防災組織に補助を行う『消防用施設等整備費補助事業』を実施します。

また、新規事業として、公

共施設内で無線LANによるインターネットサービス環境の整備を行い、インターネット環境の向上を図ります。

そして、予防接種や母子保健、ごみ処理や日野町・日南町・江府町衛生施設組合負担金などに使われる衛生費で、約4億8687万円（歳出全体の16・80^{パーセント}）、町の借金の返済金である公債費が、約4億8089万円（歳出全体の16・59^{パーセント}）と続きます。

また、教育費は約2億2457万円（歳出全体の7・75^{パーセント}）で、保小中一貫教育や学校教育、生涯学習などに使うほか、昨年度に引き続き、保育所や各小中学校に学校図書館司書を配置し、図書館教育を進めます。また、外国語指導助手（ALT）も引き続き配置し、外国語教育の充実に努めます。また、子育て支援おひさまひろば事業で子育て支援を推進します。このほか、引き続き町民ミュージカル補助を行い、実行委員会を中心に、町ぐるみで公演を盛り上

げます。

【特別会計】 繰出金が一般会計を圧迫

町の予算には、特定の事業を行うため、一般会計とは別に経理する特別会計があります。

現在、国民健康保険をはじめ、介護保険、後期高齢者医療保険など、7つの特別会計があり、当初予算の総額は約13億709万円です。

特別会計には収支のバランスを取るため、一般会計からたくさんのお金を繰り出しています。国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療保険の給付にかかわる繰出金は年々増額しています。今後高い水準で推移する見込みであり、一般会計を圧迫する大きな要因となっています。

町では、この繰出金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進、介護予防や健康づくりによる医療費抑制に取り組んでいますので、ご協力ください。

《特別会計》

◆国民健康保険	【予算額】	3億9,680万円	（前年度比較	0.36 ^{パーセント} 増）
◆介護保険	【予算額】	5億8,879万円	（前年度比較	0.30 ^{パーセント} 減）
◆後期高齢者医療保険	【予算額】	5,648万5千円	（前年度比較	3.37 ^{パーセント} 増）
◆簡易水道	【予算額】	1億317万1千円	（前年度比較	1.79 ^{パーセント} 減）
◆公共下水道事業	【予算額】	1億970万3千円	（前年度比較	5.37 ^{パーセント} 増）
◆農業集落排水事業	【予算額】	5,164万3千円	（前年度比較	30.25 ^{パーセント} 減）
◆鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会	【予算額】	49万6千円	（前年度比較	18.82 ^{パーセント} 減）

平成 26 年度 各課別の主な事業（一般会計）

町では、今年度もさまざまな事業を計画しています。主なものを紹介します。

【総務課】

■電子自治体推進事業《新規》

役場庁舎、図書館、隣保館、黒坂支所にフリースポット（無線 LAN によるインターネットサービス）環境構築の整備を行う。（127 万円）

■耐震性貯水槽設置《継続》

耐震性貯水槽を 2 基設置する。（1,480 万円）

【住民課】

■戸籍システム更新《新規》

現在使用している戸籍システムのリース満了による更新。（1,154 万 9 千円）

【企画政策課】

■町地域活動支援交付金《継続》

元気な集落づくり、交流・地域資源を生かした地域活性化のための活動に交付金を交付する。（200 万円）

■生活交通確保支援事業《継続》

タクシー以外に交通機関を利用することが困難な人を対象に、タクシー運賃補助を行う。（300 万円）

■地域おこし協力隊支援事業

《継続》三大都市圏などから日野町に移住してきた地域おこし協力隊の活動費の支援および協力隊の新規募集を行う。（1,616 万 7 千円）

【健康福祉課】

■わが町支え愛活動支援《継続》

地域の高齢者や障がい者など要援護者の支え愛マップの作成

や見守り体制の構築など、支え愛活動を行う自治会に対し、社会福祉協議会を経由し、補助金を交付する。（25 万円）

■高齢者ふれあい見守り事業

《継続》高齢者が地域で安心して生活できるように、専任の職員を 1 人配置し、自宅を訪問して相談・聞き取りを行う。（228 万 7 千円）

■子育て支援事業《継続》

子育て世代の経済的負担軽減や子育て世代の定住促進などを図るため、町内に住所を有する 1 歳から 3 歳までの誕生日を迎える幼児の保護者に対し、支援金 3 万円を給付する。（120 万円）

【産業振興課】

■日野郡鳥獣被害対策事業

《新規》日野郡 3 町連携による日野郡鳥獣被害対策協議会を設立し、広域的かつ効果的な被害防止を推進するほか、激減している狩猟者の育成確保を図る。（222 万 6 千円）

■チャレンジプラン支援事業

《継続》がんばる農家プランを作成した農業経営者に対し、農業用施設・機械導入費を補助する。また、JA 鳥取西部二大野菜の産地力増強プラン事業に対し、補助する。（942 万 3 千円）

■集落営農組織支援事業《新規》

集落営農組織が導入する農業用機械に対し、補助する。（130 万 1 千円）

■橋りょう修繕《継続》

町内の橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき、福長橋の修繕を行う。（1906 万 2 千円）

【教育委員会】

■保育所支援員設置《新規》

ひのっこ保育所に支援員を配置し、保小中一貫教育をさらに推進するために、小学校へのなめらかな入学に向け、年長児へ細やかな支援を行う。（182 万 7 千円）

■学校図書館司書配置《継続》

保小中一貫教育推進のため、学校図書館司書を 2 人配置し、幼児期からの読み聞かせ、学校図書館の充実、教員への参考図書などの支援を行い、図書教育の充実を図る。（469 万 3 千円）

■外国語指導助手（ALT）配置《継続》

ALT を引き続き配置し、英語力の向上、実践的コミュニケーション能力の育成を図り、外国語教育の充実を行う。（528 万 1 千円）

■放課後子ども教室《継続》

放課後、小学校の多目的教室を利用し、子どもたちの安全で安心な居場所を整備する。なお、夏季休業中も行う。（609 万 5 千円）

■学校支援地域本部事業《継続》

学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てるため、地域住民が学校の求めに応じ、必要な支援を行う体制を整備する。（123 万 3 千円）